



これだけは知っておきたい！

# 電波法認証の基礎

Safety. Science. Transformation.™

# 注意事項

- 本コンテンツの知的所有権はUL Solutionsにあります。無断での転用配布・放送は禁止されています。
- 本コンテンツは一般的な情報を提供するもので、法的並びに専門的助言を与えることを意図したものではありません。
- 本コンテンツは、作成時点の情報をもとに作成しています。本コンテンツの情報に基づいて行った行為により生じたいかなる結果に関しても、弊社では責任を負いかねます。
- 規制は国や地域ごとに異なり、また日々アップデートされています。最新の規制情報をお知りになりたい場合は、[CTECH.Marketing.GA@ul.com](mailto:CTECH.Marketing.GA@ul.com) までお気軽にお問合せ下さい。

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# 無線を搭載した製品の上市・海外展開

無線技術(BluetoothやWi-Fi等)を搭載した製品の使用・販売

- ⇒ 国ごとに異なる**無線規制(電波法)**により、  
使用できる周波数帯は制限されている
- ⇒ 無線機器の海外展開には、  
国ごとに定められた**認証**を取得しなければならない。

※無許可でその国へ使用・販売を行った場合は、  
罰金等のペナルティが課せられる場合がある。

無線規制(電波法)に  
適合している証として  
“**認可証**”の取得



製品の  
使用・販売が可能に



# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# 認証取得の流れ

## ■基本のイメージ





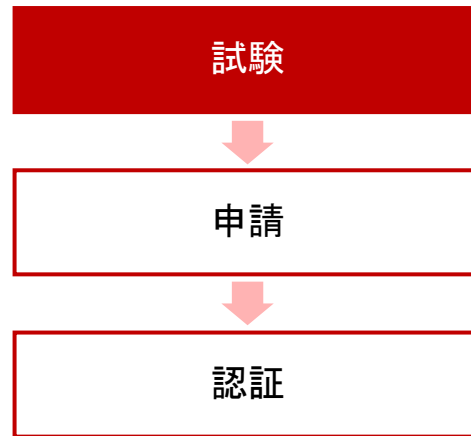
# 認証取得の流れ – 日本

## 試験の実施

登録証明機関※へ試験サンプルを提出  
販売予定製品のサンプル品を用いての試験

- ⇒ 製品の種類により技術基準や試験項目が異なる
- ⇒ 日本の電波法技術基準に適合している事を確認
- ⇒ 試験レポートの発行

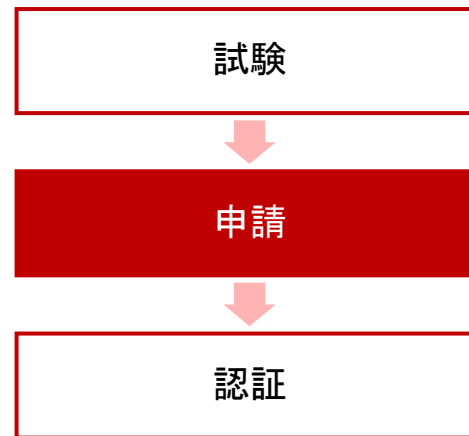
※総務省より認定された機関



# 認証取得の流れ – 日本

## 必要資料を提出

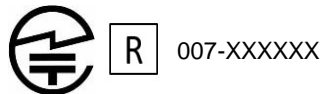
- 申請書
- 工事設計書
- 試験レポート
- 製品写真
- ISO認証書
- ブロック図 etc...



# 認証取得の流れ - 日本

## 認可証発行

(工事設計認証)



## 適合表示

(技適マーク + R + 認可番号)

表記要件

試験



申請



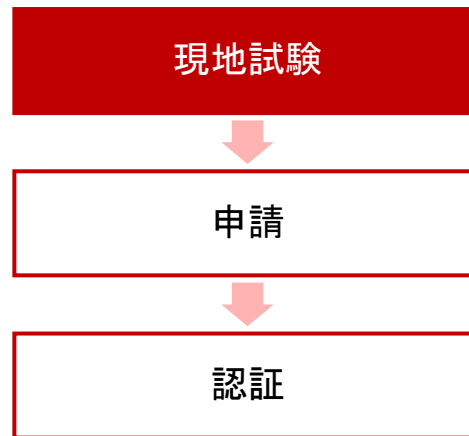
認証

# 認証取得の流れ – 台湾

## 現地試験の実施

現地認定試験所へ試験サンプル提出

- ⇒ 台湾規格に基づいた適合試験
- ⇒ 試験レポートの発行

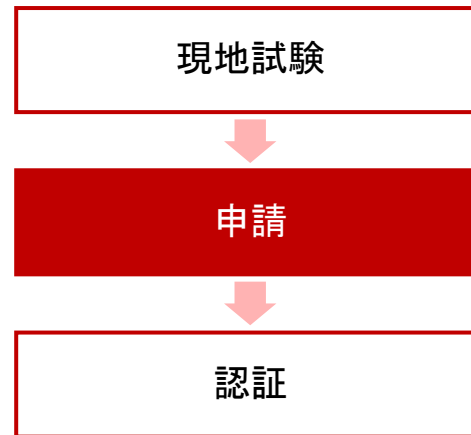


# 認証取得の流れ – 台湾

NCC(台湾無線機器認証当局)へ必要資料を提出

- 申請書
- ラベル写真
- **現地代表者**
- 製品写真
- 製品仕様書
- 操作マニュアル etc...

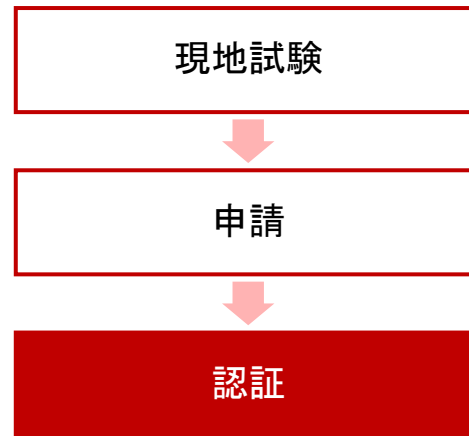
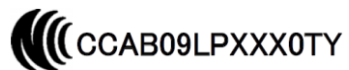
申請対象国内で申請者となる現地法人のこと  
⇒ 国ごとに個別の要求有



# 認証取得の流れ – 台湾

## 認可証発行

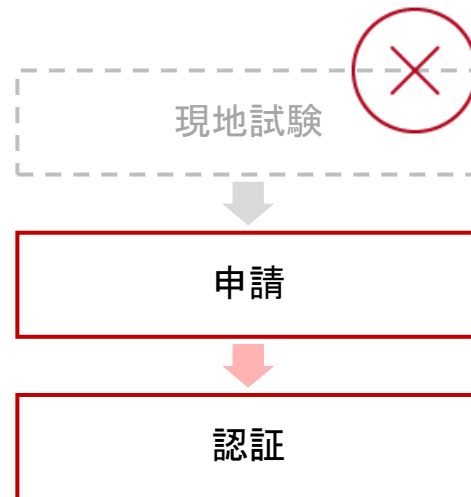
- 認証マーク・認可番号等の表示



# 認証取得の流れ - クウェート

## 欧州試験レポート準備

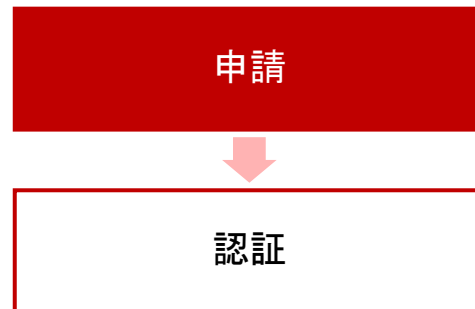
※ 多くの国では現地試験ではなく、  
欧州/米国の規制・要求に適合した試験レポートが必要



# 認証取得の流れ - クウェート

無線機器認証当局へ申請資料を提出

- 試験レポート
- 製品写真
- 製品仕様書 etc...





# 認証取得の流れ - クウェート

## 認可証発行

- 表記要件 **なし**
- 有効期限 **あり**

有効期限が切れるまでに  
更新認可証を取得する必要

申請

認証

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス


# 認証取得後の対応

## ① 表記要件の遵守

ユーザーに対して注意喚起等を表すために、

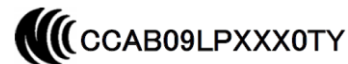
製品やユーザーマニュアル、パッケージ等への特定の**表示事項を要求**

例：認可番号、モデル名、注意・警告文、製造者名、ブランド名等

⇒ 日本：技適マーク +  + 認可番号



⇒ 台湾：認証マーク + 認可番号等の表示



⇒ クウェート：表記要件なし

## ② 認可証更新

有効期限のある認可証⇒有効期限に達するまでに、**認可証の更新が必要**

# 認可証例

※赤字箇所は記載例

<b>Ref:</b> 0000 ←参照番号	<b>Issue Date:</b> 29/01/2022 ←認可証発行日		
<b>Applicant</b>	UL Japan, Inc. ←申請者	<b>Manufacturer</b>	UL Japan, Inc. ←製造者
<b>Equipment Description</b>	Immobilizer ←製品名		
<b>Brand</b>	UL Japan ←ブランド名	<b>Model</b>	UL-100abc ←モデル名
<b>Frequency</b>	125kHz ←周波数	<b>Output Power</b>	Less Than 10mW ←出力値
<b>Remarks</b>	<p>-This document does not consider as approval for importation, release or use of the above mentioned equipment, it is a certificate of conformity with the technical specifications established by Communications and Information Technology Regulatory Authority</p> <p>-The requesting party bears the responsibility for any damages or losses or injuries that may arise from the use or trade in these equipment.</p> <p>-These equipment must not cause interference and do not request protection from interference.</p>		
	- This certificate is valid for three years from the Issue date.		←訳:発行日より3年有効

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# 製造工場変更時の手続き – 変更申請（日本）

日本電波法認証  
(免許不要局)

⎵

工事設計認証

⎵

技術基準適合認証

- ① 申請者の ISO 9000 で認証取得を行った場合
- ② 製造工場の ISO 9000 で認証取得を行った場合
- ③ 申請者も製造工場も ISO 9000 を所有していない場合

新規認証取得の際、  
登録証明機関※への必要資料

- 申請書
- 工事設計書
- 試験レポート
- 製品写真
- ISO認証書
- ブロック図 etc...

※総務省より認定された機関

# 製造工場変更時の手続き – 変更申請（日本）

- ① 申請者名義での ISO 9000 を所有している場合
- ② 製造工場名義での ISO 9000 を所有している場合
- ③ 申請者も製造工場も ISO 9000 を所有していない場合

⇒ 製造工場変更の手続き：**不要**

⇒ 認可証取得時に申請者の ISO 9000 認証書のみ提出(= 製造工場の情報は未提出)

⇒ 「申請者の責任下で製造工場が変更となった」と考えられる

# 製造工場変更時の手続き – 変更申請（日本）

- ① 申請者名義での ISO 9000 を所有している場合
- ② 製造工場名義での ISO 9000 を所有している場合
- ③ 申請者も製造工場も ISO 9000 を所有していない場合

⇒ 製造工場変更の手続き：**要**

⇒ サンプルの再提出は不要

⇒ オリジナル認可取得時の申請資料(品質管理体制図や品質マニュアル等)に

製造工場情報が含まれている場合、製造工場変更の手続き：**要**

認証取得の際、  
登録証明機関※への必要資料

- 。 申請書
- ・ 新工場のISO認証書
- ・ 品質管理体制図
- ・ 確認方法書 etc..

※総務省より認定された機関



# 製造工場変更時の手続き – 新規申請

## 原産国変更の場合、新規申請要

- インドネシア etc...

例 製造工場が中国⇒日本:新規申請**要**  
(原産国が日本へ)

例 製造工場が愛知⇒三重:新規申請**不要**  
(原産国は日本のまま)

## 製造工場変更の場合、新規申請要

- モルドバ etc...

原産国の変更に関わらず、  
製造工場変更の場合、新規申請**要**

# 製造工場変更時の手続き – 対応不要

## 手続き不要

- クウェート
- 欧州
- ヨルダン
- 北米(アメリカ・カナダ) etc...

## 手続き要

- 日本(※申請方法による)
- インドネシア
- ブラジル etc...

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# FAQ

Q1: 無線モジュールで認証を取得していたら、別途製品で認証を取得する必要はないですか？

A1: 製品認証の要否は国によってことなるため、都度ご確認が必要です。

Q2: 認証を取得する際に必要な費用を教えてください。

A2: 製品仕様や申請国によって異なるため、ご希望の場合、弊社までお問い合わせ下さい。

Q3: 認可証の保有者は誰にするべきですか？

現地代表者を設定する場合、製造者にて任意に選べますか？

A3: 海外製造者や現地代表者など、各国の要求をご確認いただく必要がございます。

# FAQ

Q4: 製品部品が変更になった場合等、認証取得時と何らかの情報が変更になった場合に  
変更申請は必要ですか？

A4: 申請国や変更内容によって判断が異なるため、お問い合わせいただくと幸いです。

Q5: 認可証を更新した場合、認可番号も新しいものが発行されるのでしょうか？

A5: 認可番号の変更が無い国の方が多いですが、変更となる国も一部ございます。

Q6: 各国の電波法をまとめているサイトなどがあれば教えてください。

A6: 弊社Websiteにて一部ご紹介しておりますので、ご参考いただければ幸いです。  
([https://japan.ul.com/resources/ctech\\_gma\\_global-radio-type-approvals/](https://japan.ul.com/resources/ctech_gma_global-radio-type-approvals/))

# Agenda

1. 無線を搭載した製品の上市・海外展開
2. 認証取得の流れ  
日本 / 台湾 / クウェート
3. 認証取得後の対応  
表記要件 / 認可証更新
4. 製造工場変更時の手続き
5. FAQ
6. 申請における注意点
7. 認証取得代行サービス

# 申請における注意点

## ■常にアップデートされる申請プロセス・表記要件

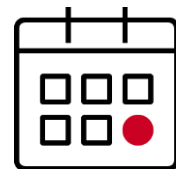
例：試験サンプルが不要 ⇒ 要

電波法認証の申請不要 ⇒ 必須



## ■各国情勢（オリンピックや宗教イベント、情勢が不安定等）

⇒ 申請プロセス・申請期間に大幅な影響を与える



# 各国電波法申請代行サービス



- ✓ 世界約200ヶ国 / 地域の規制情報を保有
- ✓ 年間6000件以上の申請実績。ULグローバル会社、エージェントと提携
- ✓ 30名を超えるUL担当者が各国認証取得をサポート
- ✓ 試験～認可取得までのオールインワンサービス
- ✓ 申請代行実績に基づく情報提供サービス

[電波法申請代行業務 \(サービスページ\)](#)

[電波法申請代行業務 \(チラシ\)](#)





# Thank you

ご不明な点、ご質問、お見積り、個別セミナーのご要望など、以下宛先までお気軽にお問合せください。

[UL.com/Solutions](https://www.ul.com/solutions)

**Safety. Science. Transformation.™**

© 2025 UL LLC. All Rights Reserved.

株式会社 UL Japan  
コンシューマー機器事業部  
E-mail : [CTECH.Marketing.GA@ul.com](mailto:CTECH.Marketing.GA@ul.com)



# Thank you

ご視聴いただきありがとうございました。

[UL.com/Solutions](https://www.ul.com/solutions)

**Safety. Science. Transformation.™**

© 2025 UL LLC. All Rights Reserved.